

# 研修の特徴 救急科

墨東病院で研修可能なサブスペシャリティ領域

集中治療  
(新専門医制度)

プログラム責任者：集中治療科 牧野 淳  
プログラム期間：2年

当プログラムは、米国で総合内科・感染症・集中治療を学んだ医師が中心となり、豊富な内科的知識をバックグラウンドに多職種連携による強みを活かしつつセミクローズドスタイルでICU12床とHCU20床の重症管理を実践している国内でも数少ない施設です。

術後全身管理や院内急変管理を始め、院内急変迅速対応や人工呼吸器回診、院内重症管理セミナー、ACPへの取り組みなどの組織横断的な活動も積極的に行っています。

ベースとなる基本領域は、救急科をはじめ麻酔科、内科、外科、脳外科、小児科と徐々にその門戸は開かれてきています。

研修では、1.高度医療の安全な提供、2.患者ニーズに応じた医療の提供、3.教育・経営における病院貢献、を目標に研修を行います。研修修了時に、集中治療専門医として必要な知識・技術の習得だけでなく、後輩医師やコメディカルを育成できるシステムの構築、病院経営を意識したICU運営ができるような自立した医師を育成することが目標です。

多摩総合医療センターで研修可能なサブスペシャリティ領域

集中治療

プログラム責任者：救命救急センター 松吉 健夫  
プログラム期間：2年

本プログラムは集中治療専門医制度に則った研修の提供を目的とする。当院を基幹施設として専門性や特徴が異なる複数の連携施設での研修により、病態・診断・治療、さらには集中治療領域では必須である多職種連携・チーム医療の重要性も含めて、他の診療科から頼りになる集中治療専門医の育成を目指す。

## 【多摩総合医療センター（基幹施設）】

初療後、主科として速やかに集中治療に移行する。多発外傷、心肺停止蘇生後、心不全、痙攣重積、急性薬物中毒、広範囲熱傷、急性腹症術後、重症呼吸不全への呼吸ECMOなど

## 【東京女子医科大学（連携施設）】

心臓血管外科術後、循環器集中治療など

## 【TMGあさか医療センター（連携施設）】

我が国最高峰の神経集中治療の真髄を研修する

## 【都立小児総合医療センター（連携施設）】

新生児、小児の集中治療の研鑽を図る